

多彩な農産物の生産が行われ、多様な農村地域がある神戸市の農業委員の地元を順次紹介していきます。

今回は神戸市北区の山田町と、そこでがんばっている農家さんをご紹介します。

○山田町

山田町は、南は六甲山系、北は帝釈・丹生山系に挟まれた谷筋にある山田川(志染川)流域に開けた地域です。昭和 40 年代後半には神戸電鉄沿線に住宅団地が開発され、まちが大きく変化し始めました。その後「新神戸トンネル」や「阪神高速北神戸線」、「北神急行」が開通するなど、北区の交通網の拠点として発展してきました。都市近郊の農村地域として、水稻や切り花用の菊などが生産されています。

○がんばる農業者 ^{まじ}馬路 ^{むねみつ}宗光さん

山田町で農業を始めて今年で3年目を迎えた馬路さん
農業に対する考え方やこだわり等について伺いました。

—就農時の苦労は？

・私は就農前、食品関連の会社に勤めていました。食の安全に関心があり、兵庫県楽農生活センターで学んでから農業を始めました。

・就農時には農業委員の方に大変お世話になりました。地域の自治会や農会とつないでいただき、農地の貸し手紹介や手続きなど相談にのってもらったおかげで、スムーズに就農できました。現在も農会長から、日ごろ様子を気にかけてもらったり、地域行事に声をかけていただいたり、温かく受け入れていただいて感謝しています。

・新規就農者同士のつながりがあり、情報や栽培技術の共有など、お互い切磋琢磨して農業に励んでいます。

—農業をされていてよかったことは？

・消費者の声を直接聞いて、美味しかったよという言葉をいただいたときが嬉しいです。子どもたちに、苦手だった野菜が食べられるようになったと喜んでもらっている姿を見てやりがいを感じます。サラリーマン時代より家族と過ごせる時間が増えました。子どもたちも畑に来て農作業を手伝ってくれます。

—農業をされていて大変なことは？

・草と暑さと水に苦労しています。現在、無農薬栽培に取り組んでいるので、草にはいつも悩まされています。夏の時期にはビニールハウス内での作業が大変で、効率が悪くなりますね。また、農地が山の上の方にあるので水にも苦労しながら、工夫してがんばっています。

—これから頑張っていきたいことは？

・将来的にはトマトのもぎ取りなどを行い、人が集まり農業体験をしてもらえるような農園にしていきたいと考えています。農業を知らない方が、普段口にする食べ物の生産地の様子を知り、農業に関心を持ってもらえるような取り組みをしていきたいです。農業に触れることで、苦手な野菜を好きになれたり、野菜の見方が変わったりするきっかけになれば嬉しいです。私も、長い間農業を知らずに過ごしてきました。農業を始めて得られた感覚や新鮮な気持ちが分かるので、たくさんの方に発信していければと思います。

・農業を続けていくと後継者について考える時期が来ます。私は自分の子どもにも農業を継いでほしいと考えています。自分の仕事として農業を選んだからには、次に継いでもらえるようにがんばりたいと思います。



~Profile~
1980年11月生まれ。2015年より農業経営を開始。主な栽培品目はトマト。

